

平成 21 年度 キャンペーンリーフレット

ワークライフバランス みんなの宣言募集

「あなたのワークライフバランス宣言」を聞かせてください！

ワークライフバランスは、企業の取組であると同時に、働く人が「働き方」を自分で選択することでもあります。残業を減らす、業務改善をする、生活の経験を仕事に活かす…、あなたの実現したい「生き方」、「働き方」、宣言してください！

- 特典**
- ※① 佳作はホームページで随時、公表いたします。(匿名希望の方は秘密厳守)
 - ※② 優れた作品はイベントで表彰し「ちょっといい」賞品を贈呈いたします。(2月頃予定)
- 応募方法** お問合せは、埼玉県庁 少子政策課 (TEL 048-830-3343) まで

ホームページから **「八都県市ワークライフバランス推進キャンペーン」ホームページ**
 →埼玉県ホームページ →健康・福祉 →子育て支援ホームページ
<http://www.pref.saitama.lg.jp/A03/BF00/kosodate/kosodate1.htm>
 (携帯サイトでも「埼玉県」サイトからアクセスできます)

お問合せは、埼玉県庁 少子政策課 (TEL 048-830-3343) まで

ホームページから **11/30** まで

お問合せは、埼玉県庁 少子政策課 (TEL 048-830-3343) まで

FAX 048-830-4784 埼玉県庁 少子政策課 〒330-8501 さいたま市 大宮区 大宮1-1-1 ニックネームで 応募できます	住所 〒 連絡先 (電話又はEメールアドレス) ふりがな氏名 氏名希望 ・ニックネーム希望 () 職業 性別 男性・女性 年齢 (年代) 代
--	---

「あなたの一言宣言」<お好きな宣言をどうぞ>

<一言例> ○水曜日は定時退社して、家で読書するぞ！
○私は会議を効率化するために配付資料をA4、1枚にします！

20年度の八都県市共同イベント

八都県市では、平成21年2月18日(水)、東京国際フォーラムで開催された「ワークライフバランスフェスタ東京2009」(東京都主催)に出展し、大勢の方にご来場いただきました。

●八都県市ワークライフバランス推進企業フォーラム
～不況の今こそワークライフバランスの推進を～

◆コーディネーター 瀧美 由喜氏
◆企業事例発表 曙ブレーキ工業(株)、キッコーマン(株)、(株)富士通エフエフ

●「ワークライフバランス実践アイデア募集」優秀作品 表彰式
<20年度優秀作品>

- 「バランスの可視化を」(「自分とワークとライフのバランスに気づくようにグラフや表をつくる)
- 「父親が子どもと一緒に地域の少年スポーツクラブに参加する」
- 「子どもから勉強を教えてもらう」
- 「毎月休予定表で年休の計画取得を促進」(「休暇が近づいたら上司や周りが休暇取得を促す)
- 「職場内で子どもの写真などのアルバムをつくる」(「同僚も「この子のためなら」と思うようになる)

八都県市 ワークライフバランス推進キャンペーン

埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 横浜市 川崎市 千葉市 さいたま市



でも「ワークライフバランス」って何だっけ？という方へ

10の疑問に八都県市がお答えします

八都県市ワークライフバランス共同アピール

- 働く人の方へ** 働き方を見直してもっと子育てを楽しみましょう
子どもはパパ、ママの笑顔を見たいと思っています。特にいつも通りの遊びパパは、働き方を見直して家族との時間を大切にしましょう。
- 上司や同僚の方へ** 職場ぐるみで「子育てパパ・ママ」を応援しましょう
「お互い様」の精神で、子どもが病気の時などは遠慮なく休暇が取れる職場づくりを進めましょう。
- 企業主の方へ** ワークライフバランスで業績の向上を目指しましょう
従業員のやる気や創造性を高め、優秀な人材を確保、定着させましょう。
- 取引先の方へ** 発注先の働き方にも気遣いしましょう
相手先の従業員に無理な働き方とならないよう、仕事の必要性や期限設定などを見直しましょう。
- すべての方へ** 24時間化したライフスタイルを見直しましょう
元日などの休日や夜間のサービスの業にはそれを担う労働者がいます。消費者も事業者もそのサービスが本当に必要なのか、よく考えましょう。

皆さんも定時退社・定時退庁、ワークライフバランス推進の取組をお願いします

主催 八都県市 (埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市)
 問合せ 八都県市「仕事と子育ての両立支援推進検討会」事務局
 〒330-8501 埼玉県さいたま市大宮区宮町1-1-1 埼玉県 福祉部 少子化対策局 少子政策課
 TEL: 048-830-3343 FAX: 048-830-4784 E-mail: a3320-40@pref.saitama.lg.jp
 協賛 社団法人埼玉県商工会議所連合会、埼玉県商工会連合会、埼玉県中小企業家団体中央会、
 社団法人埼玉県経営者協会、埼玉経済同友会、埼玉中小企業家同友会、
 日本労働組合総連合会埼玉県連合会(埼玉労組)、埼玉県労働組合連合会(埼玉労連)

埼玉県ホームページ →健康・福祉 →子育て支援ホームページ
 ホームページアドレス
<http://www.pref.saitama.lg.jp/>

ワークライフバランス

10の疑問

- #### 企業(事業主)の疑問
- Q.2 なぜ「今こそワークライフバランス(WLB)」なのですか？
- ▶厳しい経済情勢の今こそ、本業が多忙な時は難しい「業務の洗い出し・改革」のチャンスです。
 - ▶中長期的な労働力不足の中で、働きがいのある職場づくりにより、将来的に社員から選ばれる会社となります。
- Q.3 WLBの推進は企業にとって負担ではありませんか？
- ▶たしかに、育児取得が増える周囲の負担やコストが増える面があります。しかし、育児を取得できず経験を積んだ社員が辞めてしまうのは「見えざる大きなコスト」です。
 - ▶WLBの推進は中長期的に企業業績を向上させます。コストでは終わらない「ハイリターン投資」と考えるべきです。
- Q.4 WLBの推進とは具体的に何をすれば良いのですか？
- ▶まず、「ワークライフバランス(WLB)」という言葉の正確な意味を社員一人一人がきちんと理解することが第一歩です。
 - ▶次に、社員のライフステージによって異なるニーズに応じた「柔軟な働き方」の工夫です。また、業務の共有化、効率化の徹底など「出来ることから」取り組みましょう。
- Q.5 子育て中の社員はみませんかWLBは関係ありますか？
- ▶子育て世代だけでなく、介護や自己啓発など、あらゆる社員にとって仕事と生活の調和は必要です。
 - ▶社員の時間管理能力や危機管理能力の向上などWLBのメリットはたくさんあります。

働く人の疑問

Q.6 私にもWLBは必要ですか？

- ▶たとえ今は関係ないと思う方がいたとしても、子育てや介護など、いずれWLBが必要ライフステージがやってくることでしょう。
- ▶独身の方なども、メンタル面の健康や自己啓発にWLBは不可欠です。

Q.7 残業しないことがWLBですか？

- ▶職種によっては業務の繁忙期など、残業をゼロにすることが難しい時期もあるでしょう。したがって、残業しないことがWLBではありません。
- ▶大切なのは、社員も企業も「残業先向き」の働き方を見直し、効率的かつライフステージに応じて柔軟な働き方を選択することです。

Q.8 家族の事情で休むと、同僚や上司に迷惑がかかると思われませんか？

- ▶「権利の主張だけするのはおかし。不公平な感じがする」と思う人がいるのは、仕方のないことかもしれません。
- ▶しかし、生活と無難な人はいないのですから職場の理解と協力が必要で、業務の空きをフォローしあえる職場づくりが大切です。休んだ本人も次回は自分がフォローしようとする「お互い様、思いやり」の心が大事です。

みんなの疑問

Q.9 国や自治体はなぜWLBを進めているのですか？

- ▶少子高齢化の急速な進展に伴い、WLBを推進しなければならぬ人々はますます増えるでしょう。
- ▶また、仕事以外の自分の時間と他人の時間・生活をお互いに尊重し合うことは地域の支え合いの輪を広げることにつながるからです。

Q.10 八都県市ではどのようなWLB推進の取組をしていますか？

- ▶八都県市の各自治体では社会全体に「ワークライフバランス」が浸透するよう個別企業の取組事例などの情報提供やセミナーの開催などを行っています。詳しくは、各自治体のホームページ等をご覧ください。

八都県市の主な共同取組

- 八都県市職員による一斉定時退庁
21年度は八都県市職員による一斉定時退庁を8月26日(水)、11月4日(水)に実施します。
(20年度は8月27日、11月4日に実施し、94,000人以上が参加、96%以上の職員が定時退庁しました)
- ワークライフバランスシールを21年度も配布します
(ご希望の方は、事務局・各都県市までお問い合わせください)

八都県市(埼玉県)ホームページ
 →埼玉県ホームページ →健康・福祉 →子育て支援ホームページ
<http://www.pref.saitama.lg.jp/A03/BF00/kosodate/kosodate1.htm>
 八都県市 ワークライフバランス 検索

詳しくはホームページで

八都県市ワークライフバランス企業事例集の作成
 八都県市53社の事例を掲載しました。(20年度から33社追加)

八都県市ではこんな取組を行います。

ワークライフバランス実践アイデアを募集しています！

少しの工夫で誰もがワークライフバランスを実践できるようなアイデアを募集します。

- テーマ** 仕事と生活を無理なく両立する工夫 ●いただいたご意見をアイデア集を作成します。
応募期間 平成20年12月1日(月)まで ●優れたアイデアを提案された方には表彰状と副賞を授与いたします。
応募方法 FAX、Eメールにて受付

19年度の優秀賞5作品

- 「バランスDAYフラッグ」で定時退社を促進!**
各部門ごとに、定時退社の日である「バランスDAY」を設定する。その日には、黄色いフラッグ「バランスDAYフラッグ」を机上に表示し、定時退社と両立を強力に推進する。
- 「職場で個人の家庭スケジュール台帳を作成して早期退社を実現」**
職場で、仕事の優先順位を考慮したスケジュール台帳を作成し、各自が記入する。毎朝、朝礼でスケジュールを発表する等により確認する。時間が近づいたら、本人だけでなく周囲からも退社を促す。
- 「孫が病気で休める職場に」**
一般的には「子」の看護に携わっている看護休暇に「孫」を加えることにより、親以外の祖父祖母も子育てに参加しやすくなる。
- 「乳幼児健診は父親と一緒に」**
男性が家事・育児に参加するきっかけとなるように、6ヶ月健診、1歳6ヶ月健診、3歳児健診には父親も一緒に参加できるようにする。
- 「子どもとの決まった遊びを定着させて早く帰る」**
子どもとのコミュニケーションを十分に取り、帰る前の絵本の読み聞かせやルーチンの遊びを定着させる(リストアップに乗せてハンモックのように埋め込む等)。早く帰ることに迷いが生じない、子どもが泣き入りするということになり、「早く帰ろう」という意識になる。



昨年度の表彰の様子

アイデア	(100字以内)
住所	〒
氏名	
電話番号	
職業	

※ご記入いただいた個人情報は、他の目的で使用するものではありません。

問合せ 八都県市「仕事と子育ての両立支援検討会」事務局
 〒330-0301 埼玉県さいたま市美和区美和3-15-11 埼玉県 福祉部 少子対策局 少子政策課
 TEL. 048-830-3343 FAX. 048-830-4784 E-mail: a3320-40@pref.saitama.lg.jp

埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 横浜市 川崎市 千葉市 さいたま市

八都県市 仕事と家庭生活の調和(ワークライフバランス)推進キャンペーン

変えてみよう働き方



パパ! 子育てしていますか?
 八都県市ワークライフバランス推進キャンペーン

11月は八都県市
キャンペーン月間です

皆さんも定時退社への
取組をお願いします!

八都県市は11月5日に
定時退社に取り組みます

八都県市ワークライフバランス共同アピール

- 働くパパ・ママへ** ○働き方を見直してもっと子育てを楽しみましょう
子どもはパパ・ママの笑顔を見たいと思っています。特にいつも帰りの遅いパパは、働き方を見直して家族との時間を大切にしましょう。
- 上司や同僚の方々へ** ○職場のみで「子育てパパ・ママ」を応援しましょう
「お互い様」の精神で、子どもが病気の時などには遠慮なく休暇が取れる職場づくりを進めましょう。
- 事業主の方々へ** ○ワークライフバランスで業績の向上を目指しましょう
従業員のやる気や創造性を高め、優秀な人材を確保・定着させましょう。
- 取引先の方々へ** ○発注先の働き方にも気遣いしましょう
相手先の従業員に無理な働き方とならないよう、仕事の必要性や期限設定などを見直しましょう。
- すべてのの方々へ** ○24時間化したライフスタイルを見直しましょう
元日などの休日や夜間のサービスの裏にはそれを担う労働者がいます。消費者も事業者もそのサービスが本当に必要なのか、よく考えましょう。

職場を家族と一緒に
変えてみよう働き方

主催 八都県市(埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市)
 協賛 社団法人埼玉県労働組合連合会、埼玉県労働組合連合会、埼玉県中小企業団体中央会、社団法人埼玉県経営者協会、埼玉県経済同友会、埼玉県中小企業家同友会、日本労働組合総連合会埼玉県連合会(連合埼玉)、埼玉県労働組合連合会(埼玉連)



ワークライフバランスの推進は八都県市共通の課題です

ワークライフバランスとは

- ワークライフバランスとは、「仕事」と「仕事以外の生活」(子育てや親の介護、自己啓発、地域活動など)との調和が取れている状態です。
- そのためには、性別や年齢にかかわらず、個人の置かれた状況に応じて、多様な柔軟な働き方が選択できるようにする必要があります。
- 単に「仕事」か「仕事以外の生活」という二者選択ではなく、両者の調和を図ることにより「仕事」も「仕事以外の生活」も充実させようとするものです。



ワークライフバランスの3つのメリット

優秀な人材の確保・定着

- 企業の魅力が増し、優秀な従業員の新たな採用が容易になります。
- 熟練した従業員が長く働き続けることができ、教育訓練投資がロスになりません。

企業イメージの向上

- 家族や社会貢献を重視する企業としてイメージがアップします。
- 先進的企業としてマスコミ等にも注目されます。

業績・生産性の向上

- 従業員の時間管理能力が向上し、生産性が高まります。
- 仕事の進め方を見直すきっかけになり、組織や業務体制の効率化につながります。
- 従業員が子育て・介護・地域活動に関わることで、消費者・生活者の視点から新製品や新しいアイデアを生み出すことにつながります。

中小企業こそ取組を進めましょう!

<柔軟で迅速な対応ができる中小企業の方が有利>

中小企業になるほど「その人の本来の能力」に基づき評価する傾向があり、キャリアパス(長期休業の昇進、昇格等への長期的影響)が少ない。組織(役職の階層)がフラットで一時的プランがキャリアに影響しにくい。居住近郊で、通勤時間が短く職場環境もある。職場に子どもを連れてこられる環境を整備しやすい。女性活用の面で多様性に富んでいる。



在宅勤務(テレワーク)の様子



企業内保育所

ワークライフバランスを進めるための取り組み例

- ① 意識を変える(仕事時間一有)**
「従業員の時間は有限」という意識を徹底する。
「管理職が」部下の時間を効率的に使うという視点を意識する。
「子育て中の女性に限らない(全従業員の問題である)」という認識を共有する。
- ② 業務の「見える化」誰でもできる化**
業務の文書化・標準化・マニュアル化など自分しかできない「仕事」ではなく、「見える化」「誰でもできる化」を進める。
- ③ 「多能工」の育成**
「誰でもできる化」の次のステップとして複数の作業をこなせる「多能工」を育成する。
(ホワイターの業務の8割は標準化できると言われています)
- ④ 組織や業務を見直す**
業務配分の見直し、思い切った権限・責任の委譲を進める。

八都県市

埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 横浜市 川崎市 千葉市 さいたま市

出生率が低く、少子化に歯止めがかからない

子育て期の男性の就業時間・通勤時間が長い

他都県での就業者が多い

八都県市の連携により社会全体でワークライフバランスの推進を盛り上げる必要

19年度から3か年計画で推進キャンペーンを実施

20年度のキャンペーン内容

- 1 八都県市ワークライフバランス共同アピールを行います**
八都県市共同のアピール文(表紙を参照)により、企業・事務所や住民に広くワークライフバランスの推進を呼びかけます。
- 2 定時退社など企業への協力依頼**
八都県市内の各企業・事業所に定時退社(早期退社)に取り組んでいただくよう、呼びかけます。
- 3 八都県市定時退社**
八都県市職員は率先して、8月27日(水)と11月5日(水)の2回、一斉定時退社に取り組みます。
※11月のキャンペーン月間を中心に、各都県市でも関連イベントを実施します。ぜひホームページをご覧ください。
- 4 ロゴマークをデザインしたシールを配布します**
みんなで名刺や卓上カレンダーなどに貼り付けて、ワークライフバランスの取組を進めましょう。
- 5 八都県市共同アンケート**
八都県市で企業のワークライフバランス取組状況のアンケート調査を行います。
- 6 八都県市ワークライフバランス企業事例集の作成**
これからワークライフバランスに取り組みようとする企業の参考となるよう、特に中小企業の事例を盛り込んだ企業事例集を作成します。

埼玉県ホームページ → 健康・福祉 → 子育て支援ホームページ

ホームページアドレス <http://www.pref.saitama.lg.jp/>